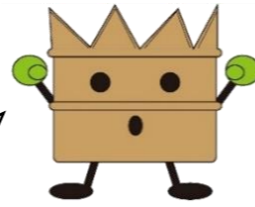


古墳時代の英雄
についてご紹介し
ます。



【ヤマト王権の英雄】

先月号の問題の答え、ワカタケル大王は「武の王」でした。(武の王とされています。) そのワカタケル大王よりも前に登場する「英雄的存在」をみなさんにご存じでしょうか。日本書紀だけでなく、本居宣長が解釈した「古事記」の中にも登場する古墳時代のスーパーヒーロー「日本武尊」(古事記では倭建命と表記)について紹介します。

英雄ヤマトタケル

① 日本武尊は、景行天皇の息子であり、古事記や日本書紀にも登場する伝説的な人物です。端正(たんせい)な容姿、勇敢で力も強く、その活躍は神話として記されています。

② 有名な逸話(いつわ)では、倭姫から授かった「天叢雲剣」と火打石のお話があります。

③ ワナにはめられて四方を火で囲まれ、大ピンチにおちいった時、とっさに剣で草をなぎ払い、火打石で向かえ火を放ちピンチを脱しました。

④ 「三重県」の由来は、日本武尊が故郷に帰る際、疲れ切った足が「三重に曲がり固い餅のようだ」と嘆いたことから「三重」といわれるようになったそうです。

三重県亀山市にある「能褒野王塚古墳」は、宮内庁から「日本武尊の墓」として治定されています。日本武尊の伝説的な神話は日本各地で語り継がれており、墓(陵墓)だけでも国内で3つ治定されています。

倭姫からゆずり受けた「草薙の剣」は、その昔スサノオノミコトが、ヤマタノオロチを退治した際に体内から見つけた剣であり、朝廷(天皇家)に代々受け継がれてきた神器として熱田神宮に奉納されているそうです。

様々な逸話や活躍が日本書紀や古事記の中に記されていますが、日本武尊が実在した人物であったか、数々の逸話が本当にあったことかどうかわかではありません。おそらく、ヤマト王権が日本各地に

勢力を伸ばしていく中で、ヤマト王権の正当性を日本武尊の英雄的存在を通じて書物に残していったとも言われています。

漫画の中に出てきた「草薙の剣」や「白い鳥」伝説のほかにも、クマソタケル兄弟との闘いや、オトタチバナヒメの人身御供、伊吹山の神との闘いなど、日本武尊が残した数々の伝説は現代人が読んでも色あせることのない輝きを放っています。また、ご紹介出来る機会があればお話しします。

ところで、日本の「三大神器」の一つは草薙の剣ですが、あとの二つは次のうちどれでしょうか。

【 ○伊弉諾盾 ○八咫瓊勾玉 ○夜濡須鏡 ○八咫鏡 ○海神鏡 ○天之御矢 】

来月号で答えを紹介するので、興味のある人はぜひ調べておいてください。(担当)

【2月 如月】

寒い日が続いていますが、2月4日は春の始まりとされる立春です。その前日が節分となり、無病息災を祈って豆まきをする風習があります。「三重県まん延防止等重点措置」が実施され感染拡大が続いておりますが、一日も早く感染状況が落ち着き、健康で安全安心な生活が送れることを願って止みません。

文化財センターにはにわ館の工事は、世界的な感染拡大の影響で部品や機器の納品が心配されましたが、無事に届き、機械室内の大型空調機器の入替が行われました。

ギャラリー棟での工事も順調に進んでいます。工事に伴い、大型車両の出入りやコンクリート等掘削の際の騒音など、ご迷惑をおかけしておりますがご理解ください。

はにわ館やギャラリーは閉館中ですが、センター入口のロビー展示が新しくなり、「曲遺跡」を紹介しています。また、4日(金)から14日(月)の間「豪商のまち松阪」観光交流センターの2階にてミニ展示を行います。パネル展示となりますが、文化財センターの活動の様子や松阪市の文化財(考古資料)の一部を紹介させていただきます。是非お立ち寄りください。25日(金)・26日(土)には、橋西地区市民センターを会場にワークショップ「勾玉」&「松阪市の文化財紹介」も行います。

4月の再開までしばらくありますが、開館準備も進めていきますのでお待ちください。(所長)



←よろしければアンケートにもご協力ください。
感想等をお聞かせいただければ、今後の参考とさせていただきます。

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】
空調工事の為、3/31(木)まで休館

【ギャラリー】
空調工事の為、4/10(日)まで休館

【イベント】
休館日 7日(月) 14日(月) 21日(月) 24日(木) 28日(月)
【発行】松阪市文化財センター 【☎】0598-26-7330 文化財センター情報はこちら

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

